

格子状（スリット、スノコ）の床を入力する方法

文書管理番号：1163-01

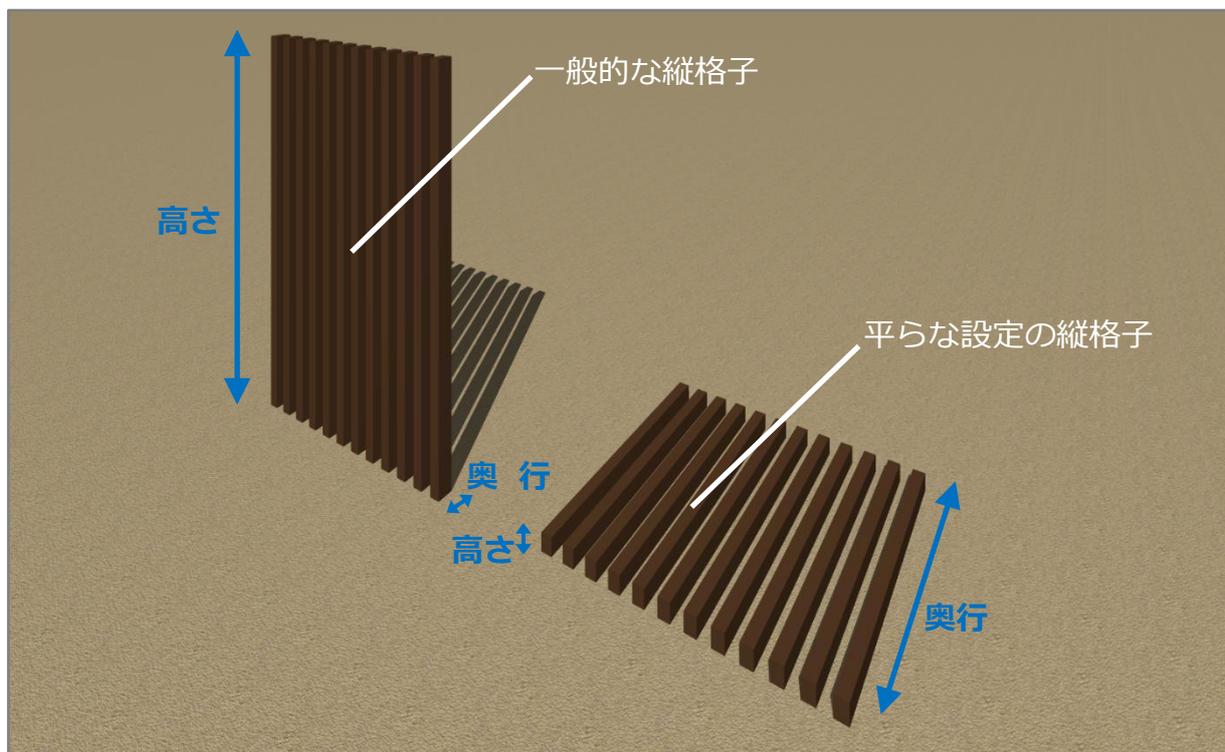
Q. 質問

格子状（スリット、スノコ）の床を表現したい。

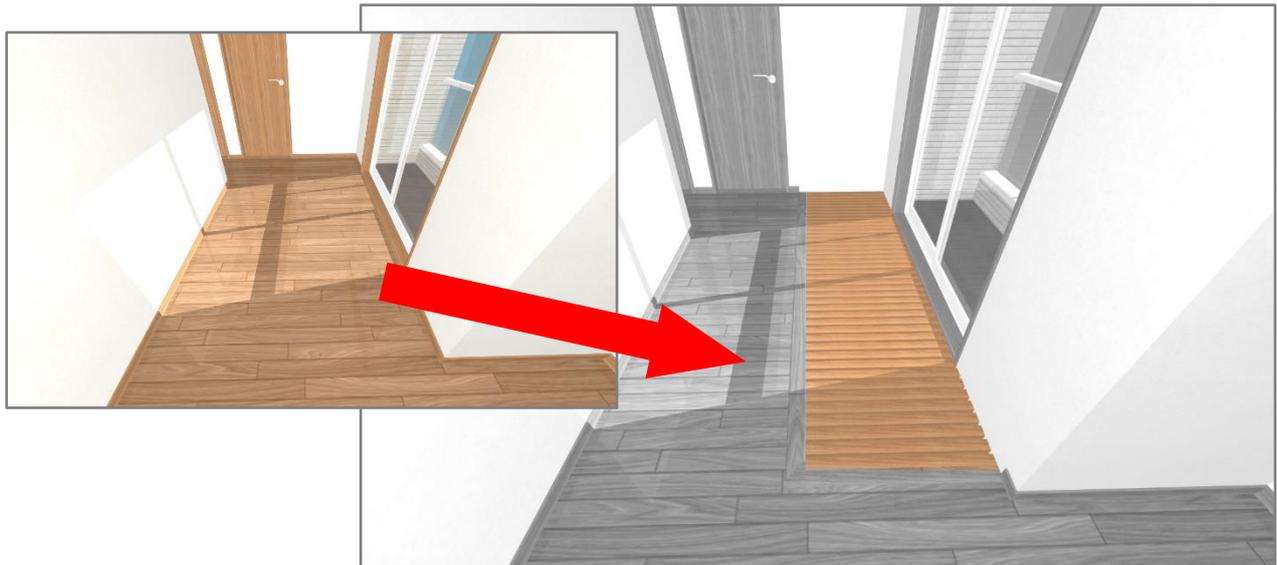
A. 回答

格子状（スリット、スノコ）の床は、 (プラン図)で (付属品)の (スリット)を縦格子に設定して使用すると、一括して配置でき、格子 1 本 1 本を部品等で入力する手間を省くことができます。

通常、スリットは縦方向に配置するため、上端高を高く設定しますが、格子状の床を表現する場合は、上端高は低くし、奥行きを長く設定します。縦格子スリットを平らにつぶすようなイメージです。



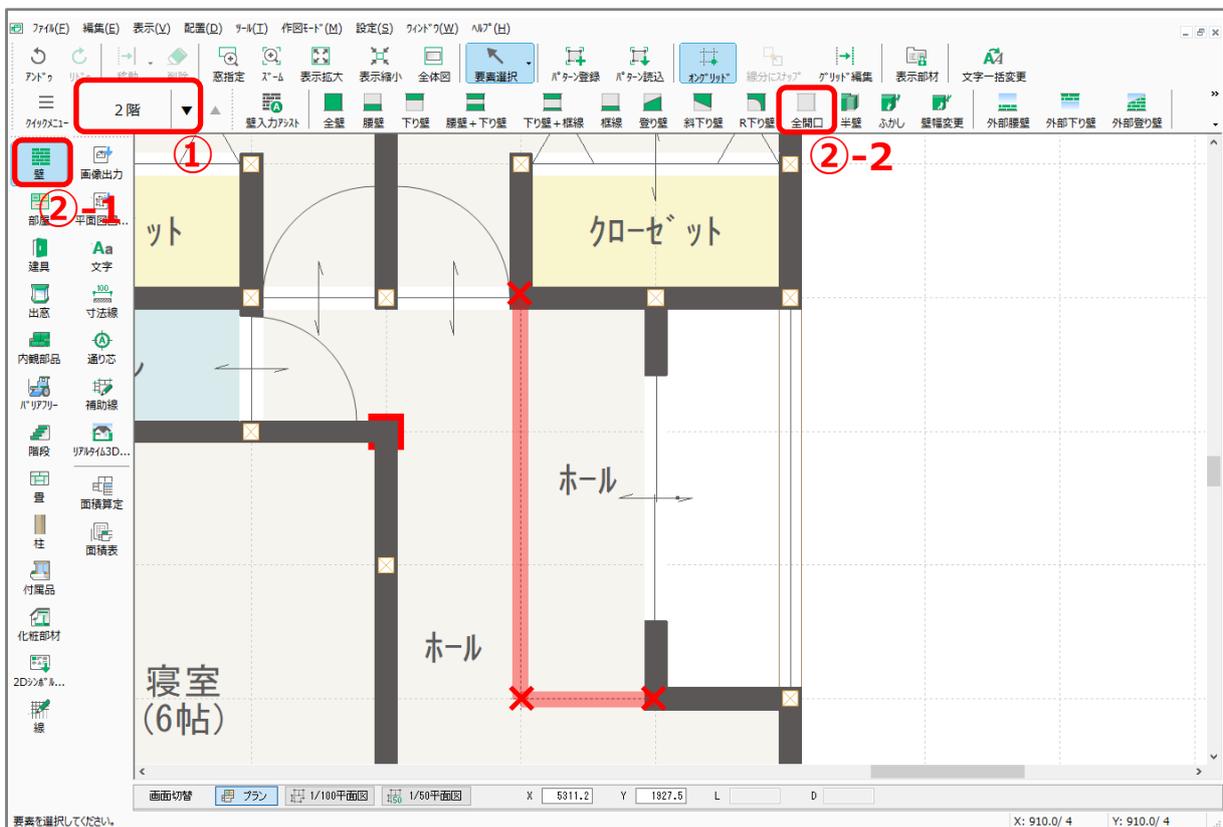
ここでは、以下のように2階のホールの床の一部を、格子状の床に表現する方法を説明します。



床がある状態から、格子状の床に変更する手順を説明します。

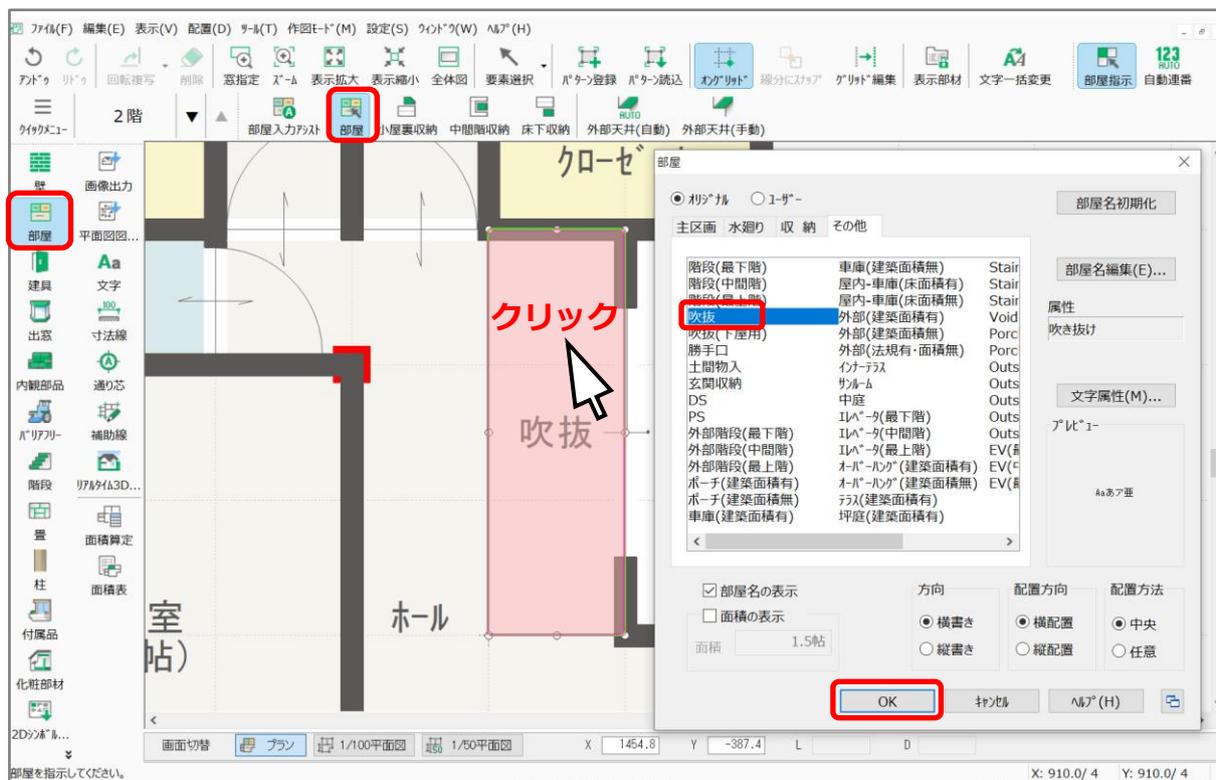
操作手順

- ①  (プラン図)で2階を表示
- ②  (壁)の  (全開口)で、ホールの部屋の格子状の床にする範囲を区切る
 - * ホールの部屋が2つに分かれます。



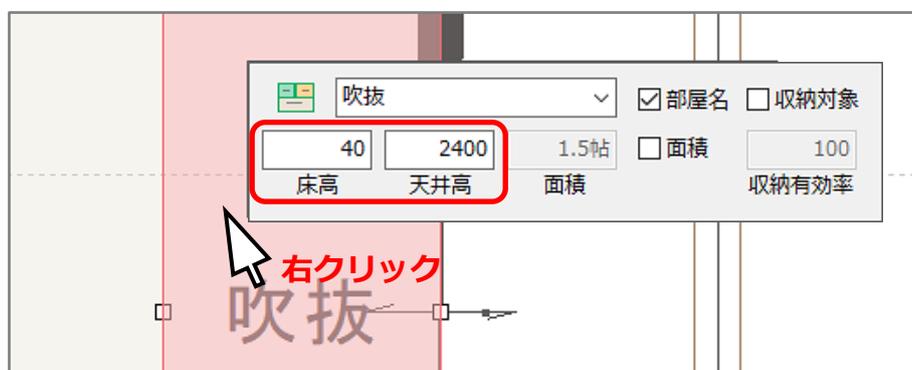
③ 格子状の床にする範囲の部屋を「吹抜」に変更

- * (部屋)の (部屋入カアシスト)、 (部屋)どちらを使用してもかまいません。
- * 下図では (部屋)を使用しています。



④ (要素選択)で「吹抜」に設定した区画を選択後、右クリックし、部屋のスマートメニューで床高、天井高を変更

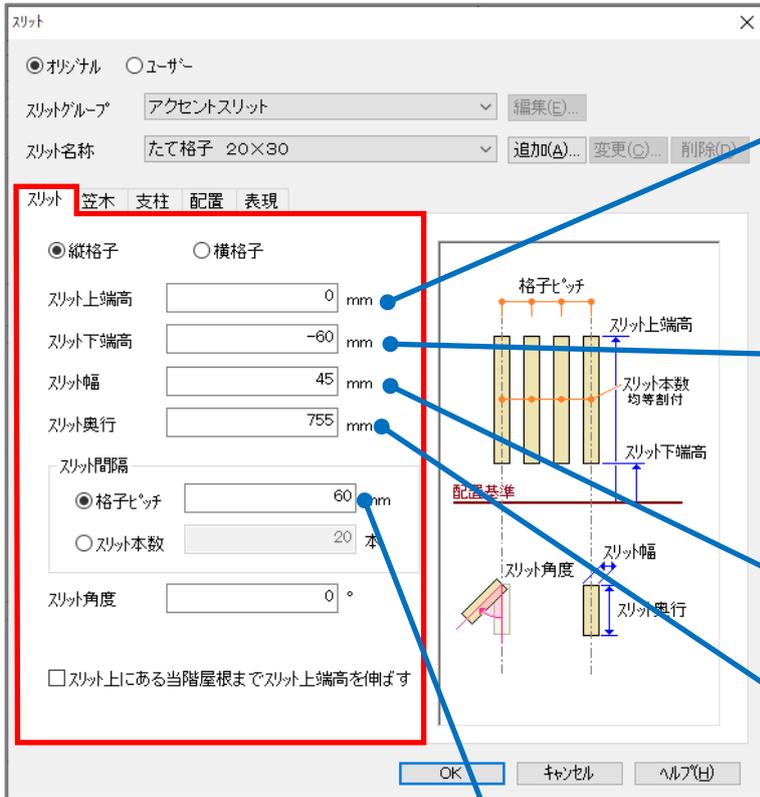
- * スリットの配置基準を「床」に設定して配置するため、吹抜の床の高さを隣接するホールに合わせます。
- また、天井に段差ができないよう、天井高も変更します。
- * ここでは床高「40」、天井高「2400」に設定します。



- ⑤ (付属品)の (スリット)をクリック
 * スリットの設定画面が表示されます。

- ⑥ スリットの各項目を設定
 * ここでは、各タブを切り替えて、以下のように設定します。

【スリット】



<スリット上端高>
 床面と同じ位置にするため「0」とする

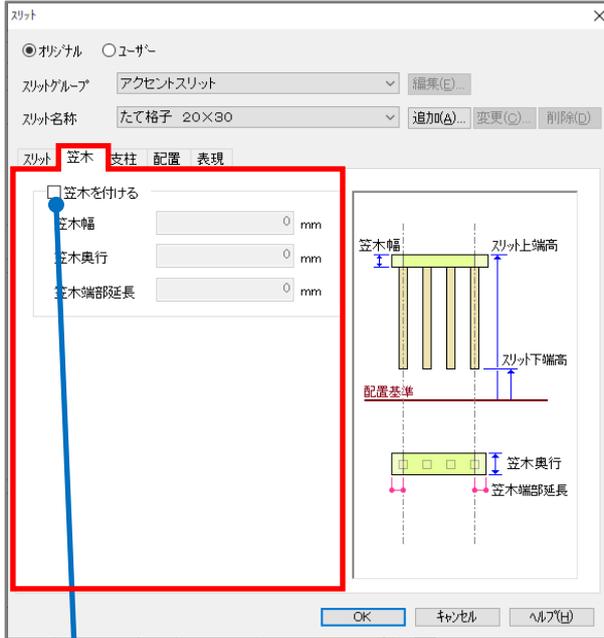
<スリット下端高>
 格子の厚みを 60mm にするため「-60」とする

<スリット幅>
 格子の幅を 45mm にするため「45」とする

<スリット間隔>
 格子同士の間（隙間）を 15mm にするため「60」に設定
 * (スリット幅) 45mm + (隙間) 15mm = (格子ピッチ) 60mm

<スリット奥行>
 格子 1 本の長手方向の長さを入力
 格子状の床とホールの床の重なりを考慮し「755」に設定
 * (区画幅) 910mm - (壁厚) 155mm = (スリット奥行) 755mm
 * 壁厚にあわせて差し引く数値は変更してください。

【笠木】



チェックを外す

【支柱】



チェックを外す

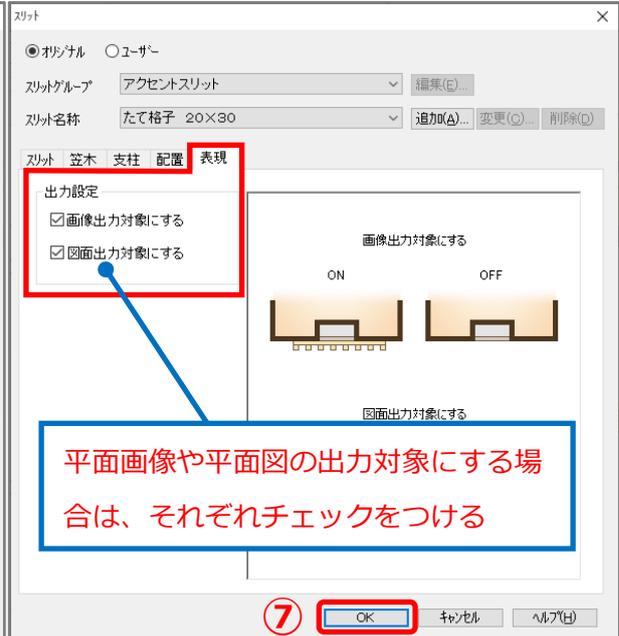
【配置】



<配置位置>

「スリットを芯に配置する」を選択

【表現】



平面画像や平面図の出力対象にする場合は、それぞれチェックをつける

⑦

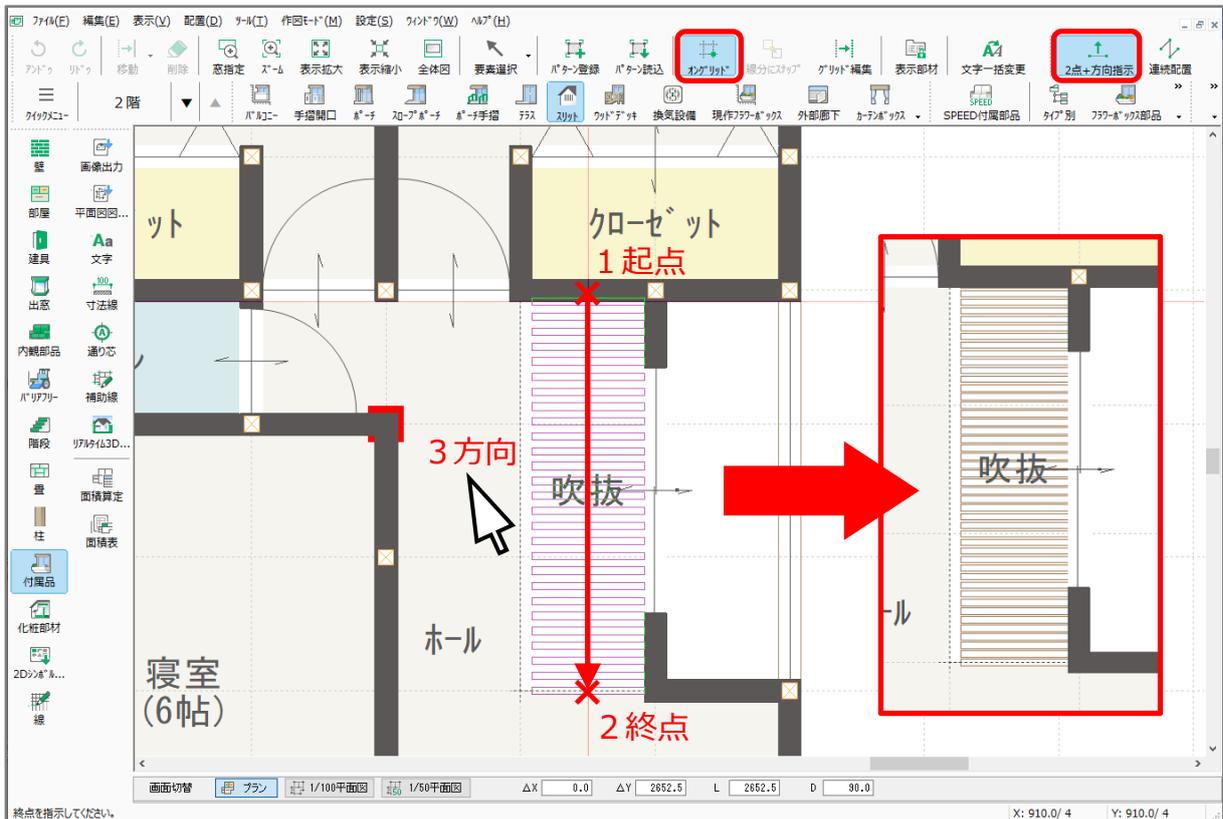
⑦ 各タブ内の項目を設定後、「OK」をクリック

⑧ 格子状の床を配置する部屋をクリック

* P.3 操作③で設定した「吹抜」をクリックします。

⑨ (オングリッド)、 (2点+方向指示)をクリック

⑩ 吹抜の両端の壁の中心を起点-終点で指示後、方向 (左右どちらでもよい) の順にクリック



* スリットが配置されます。

* (3D パース)に反映します。



* スリットの初期部材色は、サッシのアルミ (シャンパングレー) ですが、上図では木目の部材色に変更しています。必要に応じてスリットの部材色を変更してください。

参考：格子状の床の例

スリットを利用した格子状の床で、下のような表現も可能です。

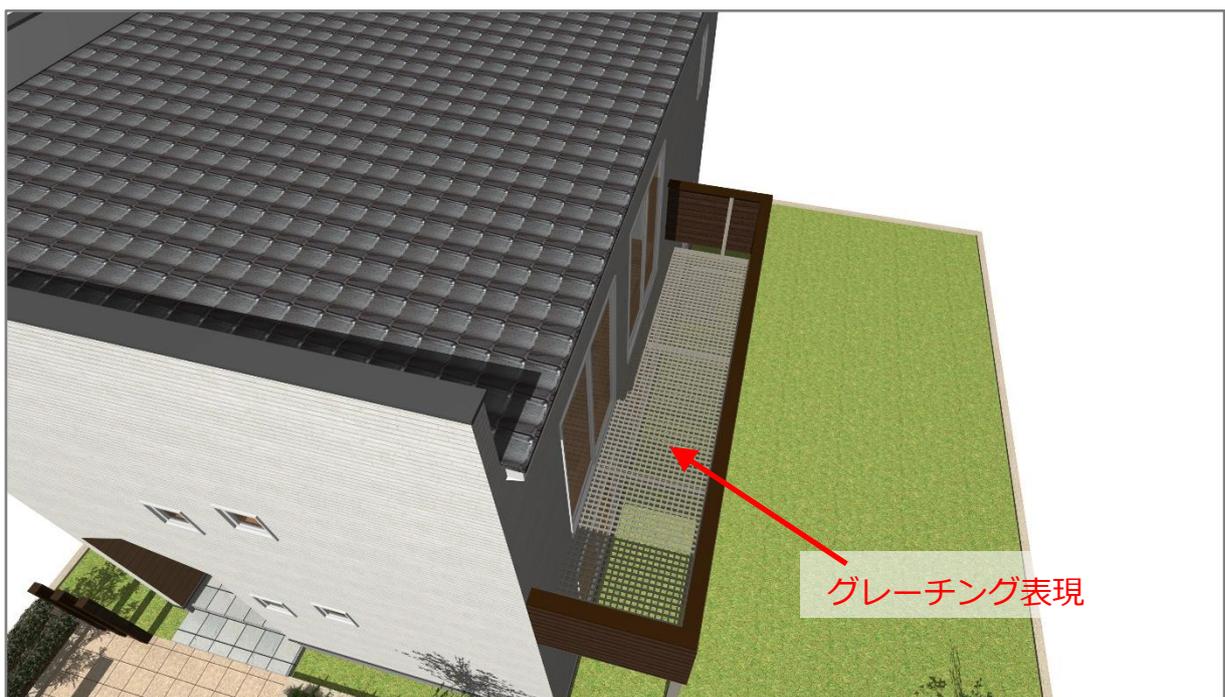
● キャットウォークの表現



* 🏠(内観部品)の 🪴(置物)にある「梁」を、サイズを調整してスリット側面に配置しています。

● グレーチングの表現

スリットの配置方向を変えて2つ組み合わせると、井桁状のグレーチング表現も可能です。



【参考】

よく使用するスリットの設定は、「追加」からリストに追加しておく便利です。

次回使用時にはリストから選択でき、設定値を切り替える手間を省くことができます。



スリットの設定を登録する手順については、こちらをご覧ください。

[\[1164\] スリットの設定パターンの登録方法](#)